

## 西東京 CDE の会 第 19 回例会

### 新しい「糖尿病診療ガイドライン」と 「糖尿病治療ガイド 2020-2021」を解説します！ ～療養指導はどう変わる？～

日 時：2021年6月12日（土）Zoom 開催

15:30～19:00（受付開始 15:00～）

参加費対象者：糖尿病患者にかかわる医療関係者（定員 250 人）

参加費：当法人会員 2,000 円／一般 4,000 円

（申込み締め切り 6 月 2 日）



#### 【タイムスケジュール】

15:30 開会の辞

15:35 第1部 基調講演「最新の糖尿病治療ガイド 2020-2021 の解説」

（座長） 東京都立府中療育センター／薬剤師 深野 光司

（演者） 東京医科大学／高村内科クリニック／医師 植木 彬夫 先生

16:55 第2部 講演「日本人の食事摂取基準・食品成分表が変わると療養指導はどうなるか」

（座長） 杏林大学医学部付属病院／薬剤師 小林 庸子

（演者） 駒沢女子大学（緑風会病院）／管理栄養士 西村 一弘 先生

18:05 第3部 「ガイドラインを活かした療養指導のコツ」

（座長） アストロ薬局／薬剤師 波田 博文

東大和病院／管理栄養士 原島 健太

（演者） 武蔵野赤十字病院／薬剤師 宮前 玲子 先生

杏林大学医学部付属病院／看護師 下田 ゆかり 先生

杏林大学医学部付病院／臨床検査技師 鈴木 光一 先生

八王子山王病院／理学療法士 水谷 健 先生

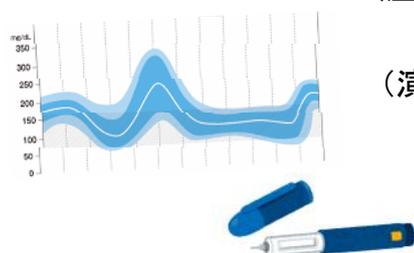
駒沢女子大学（緑風会病院）／管理栄養士 西村 一弘 先生

18:55 閉会の辞

\* 取得単位：西東京糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位「7単位」

主 催：一般社団法人 臨床糖尿病支援ネットワーク

企 画：西東京 CDE の会 実行委員



## ▼お申込み方法

当法人ホームページ「セミナー・イベント」から、下記名称の研修会をクリックしてください。

第 19 回例会

このセミナーに申し込む

ボタンをクリックすると「セミナーのお申込み」に移動しますので、必要事項をご記入ください。

**申し込み締め切り：2021年6月2日（火）**

### 【Zoom ミーティング】

オンラインセミナーです。ご自身で受講可能なインターネット環境を準備してください。端末はPC・タブレット等をご用意ください。

（有線 LAN 接続が難しい場合は Wi-Fi やテザリングをご活用ください）

※お申し込みの前に、Zoom のご利用が初めての方は Zoom ミーティングテストページにて視聴確認をお願いします。

Zoom ミーティングテストページ URL <https://zoom.us/test>

### 【受講にあたっての諸注意】

- ミーティング参加時刻および退室時刻の記録が残ります。遅刻及び早退が30分を超える場合は欠席とみなし「西東京糖尿病療養指導士」の単位は取得できません
- ミーティング参加時の「名前」は必ず「受講番号+フルネーム(漢字)」を入力してください。入力がなかったり、間違えていたりすると欠席とみなされ単位を取得できない場合がございます
- ビデオは「オン」にして顔が見える形で参加してください
- 複数台の端末での入室は禁止します
- 講演中はマイクをミュート(消音)設定にしてください
- 講演はライブ配信のみとなり、後日オンデマンド配信はございません
- 講演中の録音・録画は固く禁止されています

## 西東京CDEの会 第19回例会「演題についての要旨」

15 : 30～15 : 35 開会の辞

15 : 35～16 : 45 (70分) 第1部 基調講演

(演題)

「最新の糖尿病診療ガイドラインの解説」

(座長)

東京都立府中療育センター 薬剤師 深野光司

(演者)

東京医科大学 高村内科クリニック 医師 植木彬夫 先生

(要旨)

2019年10月、日本糖尿病学会は「糖尿病診療ガイドライン2019」を刊行した。糖尿病を取り巻く環境は大きく変化しており、高齢者糖尿病の増加や、新しい作用機序を有する治療薬の登場に加えて、持続皮下ブドウ糖測定機器の登場と活用が報告されている。食事療法については、患者の個別性に対応可能な柔軟な食事療法が示された。糖尿病療養指導士が療養指導する際に注目すべき点を分かりやすく解説する。

16 : 45～16 : 55 (10分) 休憩

16 : 55～17 : 55 (60分) 第2部 講演

(演題)

「日本人の食事摂取基準・食品成分表が変わると療養指導はどうか」

(座長)

杏林大学医学部付属病院 薬剤師 小林庸子

(演者)

駒沢女子大学(緑風会病院)管理栄養士 西村一弘 先生

(要旨)

日本人の食事摂取基準2020年版では、必要エネルギーは、基礎代謝量と身体活動レベルから算出される推定エネルギー必要量をもとに設定するとされている。糖尿病の予防には、総エネルギーの適正化を中心とする生活習慣の是正が重要である。しかし、患者個々によって年齢、体格、耐糖能も含めた病態、活動量、食習慣等が異なる状況においては、食事療法の個別化に対応したものが求められる。また、食品成分委員会は2020年12月に日本食品標準成分表の改訂を行った。食品成分表が変わると療養指導はどのように変わるか、総エネルギーの計算方法等も交え解説する。

17 : 55～18 : 05 (10分) 休憩

## 18:05～18:55 (50分) 第3部 Zoomのチャット機能

(演題)

「ガイドラインを活かした療養指導のコツ」

(座長)

アストロ薬局 薬剤師 波田博文

東大和病院 管理栄養士 原島健太

(演者)

武蔵野赤十字病院／薬剤師 宮前 玲子 先生

杏林大学医学部付属病院／看護師 下田 ゆかり 先生

杏林大学医学部付属病院／臨床検査技師 鈴木 光一 先生

八王子山王病院／理学療法士 水谷 健 先生

駒沢女子大学（緑風荘会病院）管理栄養士 西村一弘 先生

(要旨)

高齢糖尿病患者の増加、新しい作用機序を有する治療薬の発売、持続皮下インスリン注入療法、持続皮下グルコース値測定システムなどの新たな医療機器の活用など、糖尿病医療は日々進歩している。糖尿病診療ガイドラインは最新のエビデンスに基づき改訂、追加、修正されている。糖尿病療養指導士が行う療養指導においても最新のエビデンスに基づく質の高い療養指導を患者に提供することが求められる。このセッションでは、薬剤師、看護師、臨床検査技師、理学療法士、管理栄養士の各職種の立場から、最新のガイドラインを活かした療養指導のコツを紹介する。

## 18:55～19:00 閉会の辞

合計 3 時間 30 分

以上